

研究ゼミナール評価ルーブリック

評価項目	観点	A (16点)	B (14点)	C (10点)	D (1つでもあてはまれば不合格)
保健福祉学における未知の課題について取り組み、知見を得ることができる (E)(G)	保健福祉学における適切な課題を設定しているか。	保健福祉学の課題の解決や理解の深化に直接関連するテーマを設定している。	保健福祉学の課題の解決や理解の深化に関連するテーマを設定している。	保健福祉学の課題の解決や理解の深化にほとんど関連しないテーマを設定している。	保健福祉学の課題の解決や理解の深化に無関係なテーマを設定している。
	研究課題に新規性があるか。	関連する先行研究を網羅した上で、当該研究の独創性が明確に示されている。	関連する先行研究に当該研究と類似するテーマがないわけではなく、独創性を有すると認められる。	すでにほぼ同様のテーマの先行研究があるが、独創性を有するとも言える。	既に同様のテーマの先行研究が存在しており、独創性は認められない。
科学論文の形式に従って、論理的で説得力のある卒業論文を作成することができる (E)(G)	論理的に構成されているか。	主張したい論点に対して、先行研究からの情報を慎重に利用しながら整理されており、一貫性と説得力のある構成となっている。	主張したい論点に対して、先行研究からの情報が利用され、流れがほぼ論理的で構成は明確だが、やや飛躍がみられる。	文章内の考えの流れを追うことが難しく、先行研究からの情報の使い方が不注意、もしくは不適切である。	主張したい論旨が不明で、先行研究からの情報がない。
	書き方の規則に則っているか。	本文及び参考文献リストにおいて、指定された様式に完全に則っている。文法的な誤りはほとんど無い。	本文及び参考文献リストに小さな誤りがある。文法的な誤りはいくつかあるが、内容は理解できる。	本文及び参考文献リストの様式を統一しようという意識が明らかに欠けている。文法的誤りにより、読みづらい。	本文および参考文献リストの様式が統一されていない。文章が意味不明で、内容が伝わらない。

<p>プレゼンテーションの方法を身につけ卒業研究の発表を行うことができる (E)(G)</p>	<p>プレゼンテーション全体をとおして一貫した論理構成と展開で話しているか。</p>	<p>結論に至るまでのプロセスが、基本型(序論, 本論, 結論)に沿った順序で明確に話しており, 論理的に一貫した内容で説得力がある。</p>	<p>結論に至るまでのプロセスが、基本型を用いて構成しており, 論理的に一貫した内容で理解しやすい。</p>	<p>結論に至るまでのプロセスが、基本型を用いて構成しているが, 論理的なつながりに改善すべき点がある。</p>	<p>結論に至るまでのプロセスが、構成・展開の型と論理性に改善すべき点がある。</p>
	<p>視覚的な情報(図表、イラスト等)や資料(本, 論文, Web, 報告書等)を効果的に使用しているか。</p>	<p>視覚的な情報や資料を効果的に扱っており、伝えたい内容を明確にわかりやすく提示している。</p>	<p>視覚的な情報や資料を効果的に扱っており、伝えたい内容を提示している。</p>	<p>視覚的な情報や資料を一部必要に応じて扱っている。</p>	<p>視覚的な情報や資料を効果的でない形で扱っている。</p>